





4366  
13

七の編



けきふかきと何と  
あるは源氏世去支の  
正月れりといはらねと  
りふらりし上の形を  
けきの上乃ほ子にあ  
ありまゝなるがえり  
たのめんちあひし  
あはてあはせしめん  
くたせめしあはせし

縁をさへなきこと五月  
朔日ひのちあつた上  
よりひまのしをの附の  
うらしま

年月はつらり  
初ら進てやう人王  
乃ふ書乃  
と川ね  
さうせよ

あてふ

けきいふと河内ありと  
名と久保氏に去るは之  
日月のまをすり河内い  
てふとありありてふ  
とつてはる河内ありわん  
まの久保氏に河内あり秋  
その中をそとて中をい  
秋とてはるありあり秋  
むーとらふありありてふ

のこてふゆうさく見ゆわ  
んよあてあてふとせら  
ゆのた

奇一

花持は  
こてふゆわ  
あてあてふとせら  
ゆのた

